学校番号	416

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情報Ⅰ図解と実習　図解編・実習編						
副教材等	ケーススタディ　情報モラル　Advance(第１学習社) 情報Ⅰ　図解と実習　サブノート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コンピュータやネットワークの仕組みについて学習し、普段日常的に使用しているコンピュータやスマホ、インターネットについて理解を深め、正しい利用方法について考えましょう。
・SNS などのコミュニケーションツールについて、グループワークなどを通して様々な考え方を学び、コミュニケーションの方法やあり方を考えましょう。
・インターネットを使用する上で必要な権利やモラルについて、過去の事例を基に様々な考え方を知りましょう。

２　学習の到達目標

(1) 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	情報化社会	1. 情報社会と情報 2. 情報の特性 3. 情報のモラルと個人に及ぼす特性	a:データ，情報，知識の意味と相互の関係について説明することができる。 b:情報と情報技術の活用により加害者にならないための注意点や被害者にならないための対策方法をそれぞれ説明ことができる。 c:ネット依存等，情報化が個人に及ぼす影響について考え，自らの情報活用について振り返り，改善方法しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート レポート	ワークシート レポート
	情報社会の法規と権利	1. 知的財産 2. 個人情報の保護	a:知的財産権の概要について説明することができる。 b:知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 c: 問題を解決するために，知的財産を適切に活用し，主体的に創作活動に参画しようとしている。	ワークシート 小テスト	レポート	レポート
	メディアと情報デザイン	1. メディアとコミュニケーション 2. 情報デザインの実践	a:文字，図形，音声，静止画などの各表現メディア，情報メディア，伝達メディアの特性についてそれぞれ説明することができる。 b:伝達する情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現することができる。 c:メディアから収集する情報を批判的に思考し，主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。	レポート	ワークシート	ワークシート

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	システムとデジタル化	1. 情報のデジタル化 2. 音声のデジタル化 3. 画像のデジタル化 4. 情報の容量	a: アナログとデジタルの概念とその違いを理解している。 2 進数と情報量の関係について説明することができる。 b: 音声や画像の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 c:数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を，主体的かつ適切に取り扱おうとしている。	小テスト	レポート	ワークシート レポート
二学期	ネットワークとセキュリティ	1. ネットワークの構成 2. 情報通信の取り決めとWebページとメールの仕組み 3. 転送速度とデータ圧縮 4. 情報セキュリティ	a:情報通信ネットワークの構成やセキュリティについて理解する b: 目的に沿って，LAN を構成する情報機器の接続を適切に考えることができる c: 情報セキュリティを維持するための対策を自ら進んで行うとともに，自分で振り返るとともに，教員の助言や相互評価に基づいて改善を図ろうとしている。	小テスト	レポート	ワークシート レポート
三学期	アルゴリズム	1. アルゴリズムとその表記	a:アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。	小テスト		
	プログラミング	1. プログラミングの方法	b:変数を使用したプログラムを作成する。 c:問題解決のためのアルゴリズムを考え，粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。		レポート	実技テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度